

岐阜県連 県連ニュース



編集・校正：瑞浪山の会

長



県連活動上半期を振り返って

岐阜県勤労者山岳連盟 理事長 長沢近房

岐阜県勤労者山岳連盟が2024年度上期に予定していた活動について、救助隊無雪期搬出訓練(7/7)は実施されましたが、岩登り技術講習会(9/1)は残念ながら雨天中止となりました。安全登山講演会(8/24)は盛会のうちに実施することができました。各々、登山する上での技術や知識のことを取り上げて、各山岳会・クラブの活動の手助けになればと実施しており、次のような思いで企画しています。

- ① 山を安全に楽しむには、その山行に見合った技術・知識・体力が必要である。
- ② 技術・知識・体力が高まれば、登る山の範囲が広がり楽しみも増える。
- ③ 技術・知識・体力を高めるには、登山について考え、山に登り続けることが必要である。
- ④ やさしい山は1人でも楽しむことが出来るが、難しくなると1人ではリスクが高まるので、一緒に登る仲間を作ったほうがいい。
- ⑤ 自分(たち)であれこれ考えながら行った山の方が楽しく価値がある。・・・などです。

岐阜県勤労者山岳連盟の遭難対策部、救助隊の担当者も講演会の講師もこのようなことを前提に取り組んでいますが、今後も安全で楽しく山に登るために、必要なことをわかりやすく伝えるられる講習会・講演会を計画していきたいと思います。

東海ブロック学習会の案内

第24回雪崩事故を防ぐための講習会

雪山に入る上で一番気をつけなければならないのは雪崩であり、山の難度に関係なく斜面と雪と気象条件さえ合えばどんなところでも起こりうる危険があります。雪崩の救助、搜索は一刻を争います。雪山にでかける以上、雪崩の知識は必要不可欠であり、一緒に雪の性質、雪崩について学びましょう。

机上講習会 2024年11月17日(日) 9時～17時

会場 愛知県連事務所 愛知県名古屋市中川区十番町2-8 栄和産業(株)ビル2F

参加費：¥2,000- (テキスト代含む)

持ち物：筆記用具、ビーコン(お持ちの方、なくても可)

実技講習会 2025年1月25～26日(土～日)

場所：長野県小谷村 梅池高原スキー場及びその周辺 宿泊：「鷺の家」

参加費：¥17,000- (宿泊費含む)

主 催：日本勤労者山岳会連盟（東海ブロック）

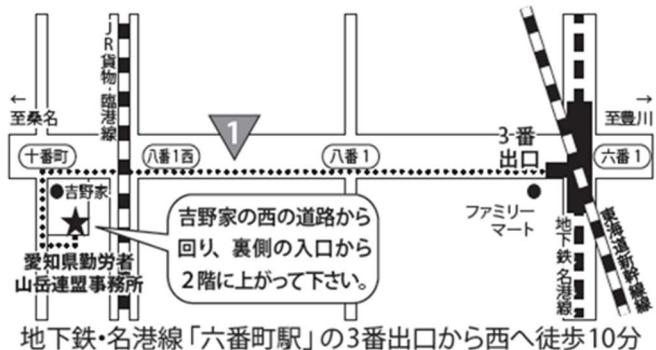
講習内容：雪崩の基礎知識、雪崩事故防止のため基礎知識、雪崩搜索救助の基礎知識等

お申込先：東海ブロック雪崩講習会事務局 佐藤 和男

E-mail : k-310-satou@dream.jp

机上講習会会場案内図

参加申込に関して：事務局への参加申込に併せて、岐阜県連にも、参加申込のメールを、会の県連理事から、遭対部長へメール下さい。実技講習会への参加は机上講習会の受講者に限ります。実技講習会の参加者は事後報告書提出により岐阜県連から 5,000 円の補助をします。



※：東海ブロックは、愛知県連、静岡県連、岐阜県連が、雪崩事故防止のための講習会を、実施しています。講習会には、3 地区の受講者が集まります。

日本勤労者山岳連盟の動き

2025 年度 JWAF カレンダーの紹介

日本勤労者山岳連盟に所属する登山者の、応募写真 208 点の中から選ばれた写真のカレンダーです。幅 36 cm 縦 52 cm の見開き、壁掛けのカレンダーです。

大きさは昨年と同じです。今年度は岐阜県からは入選は有りませんでした。



カレンダー代金 1,000 円 (税込み)

カレンダーの申し込みは、各会の県連理事に申し込んで下さい。

県連理事さんは、10月 20 日までに、事務局西部へ申込書を提出して下さい。

E メール : qq3z6zzd@biscuit.ocn.ne.jp

安全登山講演会報告

「スマホ時代のお天気山登り術」

開催日：2024年8月24日（日曜日）

開催時間：10時から12時

会場：多治見市パロー文化ホール

講師：野尻英一（気象予報士）

参加者 67名

団体名	人数	団体名	人数
あるぱいん KANI	4名	中津川労山	1名
大垣労山	11名	瑞浪山の会	1名
岐阜ケルン	8名	愛知県連	7名
多治見ろうざん	16名	一般参加	7名

今年度の登山講演会は、参加者の殆どの方が、「非常に分かりやすく勉強になりました。もっと聴きたかったです。」と感想を頂きました。野尻講師は、岐阜県の気象に関する課題を、講演の中に入れて頂くなど、準備をされて、興味深く聴く事が出来ました。

気象の知識を得る事が、安全登山に繋がる事を学んでもらえたと感じました。岐阜県連会員数は約270名です、約20%の参加率でした、参加者の殆どが役に立った、勉強になったと言う声が、参加率に繋がらなっ方事は、来年度の課題と感じました。運営面でも時間配分や、スライドの見やすさ等、改善点も多く有りました。

詳細の報告は、県連理事に、渡して有りますので読んで下さい。又県連ホームページに、アンケートの結果や、講演会のテキストを、掲載してます。講演会参加出来なかつた方、是非閲覧して下さい。

県連ホームページ

<https://gifu.jwaf.club/>

岐阜県連事務局

西部一政

（多治見ろうざん）



長沢 県連理事長 挨拶



野尻英一 講師



講演会会場

山まつり 開催



岐阜県連恒例の、山まつりを、開催します。昨年は、天候不良のため、2年越しの行事となります。山まつりは、県連傘下の団体が、交代で幹事をお願いして、幹事会のカラーを出した、楽しい行事です。

今年は、昨年に続き、瑞浪山の会が、担当です。詳細は下記のとおりです。

☆ ☆ ☆ 山まつり開催案内 ☆ ☆ ☆

開催日： 10月19日（土）

※：当日の降水確率 40%以上中止、20日に順延。

開催場所：瑞浪市 屏風山 標高 794m

まつり会場は、黒ノ田湿地広場

登山形態：各会にて、登山計画を立てて、登山口、登山ルートを決定する。

参加申込：各会のリーダーは、参加メンバーを添えて、9月20日までに、メールにて提出する。大幅な人数変更が無い様に、お願いします。

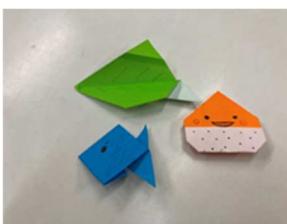
Eメール：alpinist.kengo@nifty.ne.jp

加藤 賢吾まで。

山まつり内容：“宝さがし”

屏風山山頂～湿地までの間に、折り紙が小さなビニール袋に入って隠してあります。

1人1つを湿地まで開封せずに持って来てください。交流会で景品と交換します。



アトラクション：黒ノ田湿地広場にて、各自昼食後開催します。

- 1) 宝探し、賞品授与
- 2) 各会近況報告 (2分程度)
- 3) 集合写真撮影
- 4) 閉会式

アトラクション終了後、現地解散。

2025年度「山まつり」担当は、多治見ろうざん
です。宜しくお願いします。

県勤労者山岳連盟活動報告

県連無雪期救助隊訓練報告

開催日： 2024年7月7日（日）

開催場所：中津川市四ツ目川遊砂工

参加者：あるぱいん KANI 5名、大垣労山 6名、岐阜ケルン 8名、中津川労山 6名、瑞浪山の会 2名、みのハイキング 9名 計 36名

実施内容：大阪府岳連方式の確保訓練（同時歩行時の確保）・ザイル担架による搬出訓練。



クリーンハイク実施状況

1年に一度、
山に感謝しよう “



山岳会	実施場所	参加人数	回収した ゴミの量
あるぱいん KANI	未実施	無し	無し
大垣労山	養老山	23名	24.8 kg
岐阜ケルン	未実施	無し	無し
多治見ろうざん	八曾山	13名	18 kg
中津川労山	恵那山	7名	ゼロ
瑞浪山の会	屏風山	8名	ゼロ
みのハイキング	瓢ヶ岳 関市役所駐 車場	43名 47名	ゼロ 13 kg

活動報告

大垣労山：登山道にごみはなくきれいだった。下山後遊歩道の斜面に空き缶や瓶が多く見つかった。クリーンハイクのアピール当会の紹介を兼ねてチラシ入りのポケットティッシュを配布した。中日新聞(6/5)岐阜新聞(6/6)に記事掲載

多治見ろうざん：古くからある多治見からの登山道を町内会長の協力を得て登山道整備、道標を設置した。国定公園内の登山道・遊歩道で防火水槽にたくさんごみがあった、休憩所に吸い殻入れがあり、管理されておらず、吸い殻があふれていた。

瑞浪山の会：登山道にゴミはほとんど無かった。倒木の除去などの登山道整備を行った。市の広報で宣伝、中日新聞に載った。

中津川労山：登山道にゴミはほとんど無く、草刈り機、カマなどを使い登山道整備を行った。山頂のトイレ掃除を今年も実施。

みのハイキング：登山道にゴミがほとんど無かった。草刈り機、電動ノコ、カマで登山

道整備を行った。関市市役所は、山行時の集合場所として駐車場をお借りしており、年3回程、清掃活動を実施している。

参加者の意見

大垣労山：長年の活動の積み重ねもあり登山道にゴミはほとんどなくうれしく感じた。自分のゴミは持ち帰る登山者マナーが浸透していると実感した。

多治見ろうざん：一般参加の方が、3名参加して、会に2名入会された。

瑞浪山の会：普段から一般の登山者が、ごみ袋持参で意識しながら登っている。

みのハイキング：昨年は、雨のためクリーンハイクを中止した、その反省から計画段階で土曜日実施日、予備日を翌日の日曜日にすることで、実施する計画を立てた、おかげで無事に実施できた。

岩登り講習会天候不良で中止に

開催日：9月1日（日曜日）

開催場所：美濃加茂市高木山南陵ルート

実施内容：①岩場歩行に慣れる、練習。

岩場での歩行、登下降。

②お助けセット（簡易ハーネスのセット、半マストのセット、ブルージックのセット）使用方法の練習。

結果：天候不良で中止になりました。**来年お楽しみに。**



★★夏の各会活動報告★★



あるぱいんKANT

活動報告 沢登り

報告者：土岐 進祐

山行日：8月8日（木）

美濃焼山 阿木川本流

参加者：男性3名、女性1名

コースタイム：多治見 7:00=風神神社 8:30=

入渓 9:00=第1核心 10:30=第2核心 12:15=

=脱渓 14:00=風神神社 15:50

報告：

阿木川は沢登りの場所として当会ではよく行くところである。風神神社から入渓して、1000m付近に架かる橋まで遡上し脱渓する。

一昨年に訪れた時には大雨で沢の様相がすっかり変わってしまっていて、まず林道が崩れて入渓場所の風神神社まで車で入れなかつた。また例年なら登れる滝の状態が変わってしまって登れなくなり、斜度が急な谷を巻くために大変な苦労をした等さんざんであった。その時はもう来ることはないなと思ったものである。

一年以上たつとそんな苦労は忘れて、また性懲りもなく新人さんを連れて出かけることとなつた。今回はまた風神神社まで入ることができ、まずは一安心。水量は多くも少なくもなく、いつものように入渓して遡上していく。最初の核心の滝は前回滝つぼがかなり埋まっていて簡単に越えられたが、今回は昔のままに足が立たず、核心といえるものに戻っていた。いろいろ楽しみながら、先回さんざんな目にあった第2の核心の滝まで来たが、足掛かりが無く越えられない。悪戦苦闘していると、岐阜ケルンの3人のパーティーが来て、一人の方がすっと越えていかれた。見事であった。この方のビレイで当会一名が登らせてもらい、結果全員がこの滝を越えることができた。改めてお礼申し上げます。この後、いつもの支流の小滝で、滝に打たれる修行、滝行？を行つた。年によって滝壺に足が届いたり届かなかったりで、滝に近づけない年もあり、今年も深みとなつた。しかし新人さんが立ち泳ぎでみごと滝行を行い、新しい境地を開拓した。

思いのほか時間が過ぎていたので、最終目的地の橋まで行かずに 950m 地点で脱渓することにした。ここも前回の第2の核心の滝を巻いた時のように谷が深く、ビレイを取りながら林道

まで上がらなければならなかつた。予定していた脱渓地点まで行つてしまつたほうが楽であつたかもしれない。

途中クマの死骸に脅かされ、また少し立ち止まるとすぐ虫に刺されたりで刺激的な沢登りであつた。

会員も年を重ね、以前のような「昨日よりも今日より刺激的な沢登りをしよう」といった気風から、「かつて訪れた沢を今回も完登しよう」、さらに「この沢ならまだいけるだろう」に変わってきている。まあ気力以上に衰えてきた自分たちの体力や技能をきちんと把握しているということで、安全といえば安全なのであるが、実はこれは後に続く者がいないという喫緊の課題である。



報告 小川豊  千畳敷 → 木曽駒ヶ岳 ← 桂木場  報告 棚橋**テント泊&ペルセウス座流星群**

1日目 大垣 3:00=菅の台BC 5:30-千畳敷駅 8:45→宝剣山荘 9:55→頂上山荘テント場 10:30-11:45→〈馬の背〉-濃ヶ池 13:30→頂上山荘テント場 15:45 (泊)

2日目 テント場 4:35→木曽駒ヶ岳 4:45/5:50→テント場 6:00/7:40→宝剣山荘 8:00→千畳敷駅 9:00→菅の台BC 10:30=温泉=大垣 15:30

メンバー CL小川豊、SL石原、伊藤尚、小澤、長沢、吉田、早川、一般1名

お盆
の時期
はバス
&ロー
プウェ
イが混
むと聞



き大垣を3時に出発したが、菅の台BC(5時半前到着)ですでに大行列。1時間半まちでバスに乗れた。菅の台BCからタクシーの利用もあり(バスセンターからロープウェイ乗り場まで5,000円)。千畳敷駅からは千畳敷カールがみえて期待が高まる。乗越浄土までは登りがいがあり大勢の人だった。桂小場からのグループとも馬の背の8合目過ぎでご対面。山で同じ会の人に会えるってうれしいもんですね♪濃ヶ池周囲も大自然を満喫した。テント場に戻ると雨が降ってきたが、じきに上がりタ焼け。みんなでワイワイタ食を作って食べて飲んで楽しいひと時でした。ペルセウス座流星群は各自で鑑賞。流れ星に感動。翌朝の木曽駒ヶ岳頂上では朝



焼けも見られ、雲海や景色はずーっとみていたいほどきれいでした。おまけにテント場すぐ近くに雷鳥親子が来てくれてまさにご褒美!と嬉しかった。

クラッシック・ルートからの出会い

1日目 安八 2:00⇒桂小場駐車場 5:00→野田場 6:40→馬返し→大樽避難小屋 9:10→胸突き八丁の頭 11:00→西駒山荘 11:45-12:10→八合目 13:00→馬の背 13:25→木曽駒ヶ岳 14:35-50→西駒山荘 16:45 (泊)

2日目 西駒山荘 5:30→6:50 行者岩 7:00→大樽避難小屋 9:30→野田場 10:50→桂小場 11:50⇒温泉⇒食事⇒安八 15:00

メンバー CL棚橋久、SL棚橋園、岸野、松久、山北三、藤川、大井

魅力は西駒山荘から駒ヶ岳頂上へ続く稜線歩きでした!距離感はありましたがあ、比較的登りやすく楽しめる山旅です。

西駒山荘迄の6時間の登山道は、道幅もあり歩き易いながらかな道のりでしたが、ザックの荷物の重さで、歩き始めから汗が吹き出て、休憩回数が増すことを余儀無くされました。ピーカンの装備に切り替え、小屋を12時過ぎに出て、



55分経った濃ヶ池と駒ヶ岳の分岐を過ぎた地点で、テント泊グループの一団に遭遇。あれ

ほど嬉しい瞬間はなかったです。ヤッホー! 終始祐里さんの切間無い楽しいお喋りといつも変わらぬ頼もしい大井さんの体力にとても元気付けられる山行でした! 石室での美味しい夕食会、星の観察はガスでイマイチでしたが、天体望遠鏡での月面鑑賞と楽しい時間の連続で、疲れも感じ無いほど、充実した2日間でした。



多治見ろうざん活動報告

夏合宿報告

報告者：西部 一政

開催日：8月8日（木）、9日（金）

目的の山：南アルプス 茶臼岳から光岳

参加者：男性2名、女性3名

アクセス：多治見3時＝新静岡IC＝井川＝畠薙ダム＝平沼ゲート8時00分

コースタイム：

8日）沼平 8:30⇒畠薙大吊橋⇒ヤレヤレ峠 10:00⇒ウソッコ沢避難小屋 11:30⇒横窪峠 13:50⇒横窪沢小屋 14:00

9日）小屋 6:00⇒茶臼小屋 8:30～8:50⇒茶臼岳 9:30⇒茶臼小屋⇒横窪沢小屋 12:20～12:50⇒ウソッコ沢小屋 14:00⇒ヤレヤレ峠 15:50⇒沼沢ゲート 17:00

登山情報：横窪沢小屋は、新しく奇麗、トイレもある。テントサイトもある。

時間的に茶臼小屋迄登れ無い人が、利用する事がある様です。

小屋から、10分程度登ると、携帯電話電波通じる（docomo）。

報告：

沼平ゲートで、登山者カードを提出した、管理者からアドバイスをうけて、登山スタート。ウソッコ沢小屋迄は、登りはそんなにきつくなかったが、その先はかなり厳しい登りが約2時間半続いた。横窪沢小屋に到着すると、雨が降り出し、雨具を着た。その時にメンバーの一人が、両足の痙攣が出て動けない状況になった。

一旦足が良くなっても、この先2時間以上かかるので、途中で歩けなくなった場合の事を判断して、横窪沢小屋に泊まる事に決めた。宿泊先変更を小屋に伝えないと、遭難騒ぎになってしまいないと判断して、メンバーの内2名を、小屋に向かってもらう事をお願いした。又連絡したら小屋に戻ってもらうお願いをした。この決定はメンバー5人の判断です。出発して約10分位で小屋に2人が戻って来た、聞いてみると途中で電波が通じて、小屋に連絡が出来た。判断を決めたのが16時頃なので、良かった。

5人が避難小屋で泊まる事が出来た。

翌日体調を悪くした1名は、まだ本調子でなく、登頂に自信が無いと言われたので、此処でどうするか判断を強いられた。

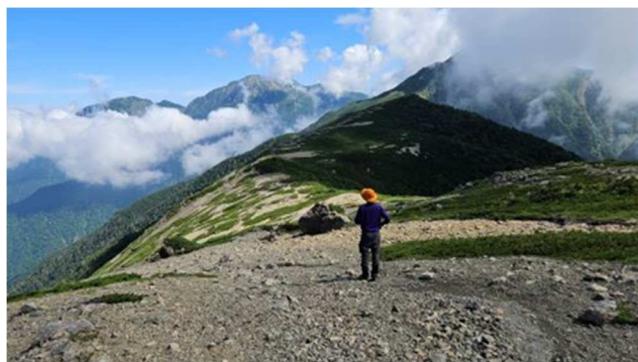
ココで諦めて下山、一人を小屋に残し、茶臼岳に登って、下山して、その日の内に下山する。の二案を考えて、結果茶臼岳を4人で登る事に決定した。

茶臼小屋から先は森林限界で眺望も素晴らしい、天気も良く、楽しい登山が出来た。残した1名には申し訳ないが、結果としては、良い判断だと思った。

まとめとして、今年は夏の気温が高く、体調管理が大変な所もある、コースタイムも、余裕を多く持って計画する事が重要と、反省しました。



茶臼岳 山頂



南アルプス縦走路 奥は聖岳



2泊予定だった、茶臼小屋



瑞浪山の会 夏山合宿活動報告

報告者：加藤賢吾

開催日：2024.8.14～15

山の名前：塩見岳

参加者：加藤、長谷川、古川

アクセス：高速利用 3 時間

コースタイム：1日目 = 4:20 瑞浪～7:00 鳥倉登山口ゲート前 P 7:21～8:00 鳥倉登山口 8:10～10:46 塩川・鳥倉登山口・三伏峠分岐～11:16 三伏峠（2日目）= 3:55 三伏峠～4:09 三伏山～4:54 本谷山 5:06～6:40 塩見小屋 6:45～7:46 塩見岳西峰～7:50 塩見岳東峰 8:10～8:59 塩見小屋 9:06～10:26 本谷山 10:38～11:19 三伏山 11:26～11:36 三伏峠 12:05～13:10 豊口山のコル 13:17～13:53 鳥倉登山口 14:00～14:36 鳥倉登山口ゲート前 P 14:45～17:40 瑞浪

登山情報：盆休みは駐車場が満杯の可能性

報告：1日目

7時にゲート前の第1駐車場につく。まずは40分間の林道歩きとなる。鳥倉林道登山口に到着。ここから本格的な登山道となり、まずは樹林帯の登りが始まる。蒸し暑く、汗が噴き出す。マルハツアブキやアキノキリンソウが咲く坂道をゆっくりと登る。

9時20ほどけの清水で水を汲んで一休みし、さらに30分頑張ると、塩川からの道との合流地点につく。さらに急登を30分でようやく本日の目的地・三伏峠小屋に到着する。

夕食後、テントの中で寝転がっていると、時折、拍手が沸き起こる。どうやらTJARのランナーが通過したらしい。夜を徹して山を走る気力と体力は超人的だ。外は時折激しい雨が降っている。我々は明日に備え、眠りにつく。

2日目。4時前に出発する。ヘッドランプをつけてまずは三伏山の登りにかかる。15分ほどで三伏山に着く。まだ暗く、遠くに飯田の灯りが見える。



本谷山山頂に着くと空は日の出前の明るさとなり、中央アルプスが雲海の上に連なりを見せている。北に目をやると、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、北岳、間ノ岳といった南アルプス北部の名峰が連なっている。

6:40 塩見小屋に到着。一息入れて天狗岩への登りにかかる。所々に鎖場があるが難なくこなす。いったん鞍部に下りて最後の急登となる。岩尾根を慎重に登り、7時46分に三角点がある塩見岳西峰につく。ちょうどガスが上がってきてしまい、展望が利かないのが残念だ。TJARのランナーとすれ違い、声をかける。写真を撮った後、最高点の塩見岳東峰に向かう。7時50分に東峰につき、写真をとて大休止となる。ガスがはれるのを期待したが一向にはないので、仕方なく下山にかかる。

1時間弱で塩見小屋まで戻り、さらに来た道を三伏峠に向かって下る。権右衛門山のトラバース道を進み。本谷山への登りにかかる頃、雨粒が落ちてくる。時折、雨脚が強くなるが、帽子で雨をしのぎながら登り返す。10時半前に本谷山に着く。雨も止み、薄く青空も見え始めた。いったん鞍部に下り、三伏山への最後の登り返しを頑張り、三伏山山頂へ。ここからすぐ先に三伏峠小屋が見える。



水分補給後、10分ほど下ると三伏峠に着く。さっそくテントを撤収し、12時過ぎに三伏峠を後にする。

下りは速いもので、どんどん標高を下げ、14時半すぎにゲート前駐車場につく。

重荷を下ろし、靴を履き替え、瑞浪に向かう。途中、松川の清流苑で汗を流し、17時40分に市役所に着く。

みのハイキングクラブ クラブ山行活動報告

報告者 松岡M 作成 森

山行日 2024.7.28 (日)

山の名前：片知渓谷沢登り

参加者：女性5名 男性4名

アクセス：

関市役所／美濃市役所 8:30 ==瓢の森P 9:15
~9:35 ··· 片知渓谷入水口 9:55

コースタイム：

滝で沢登り訓練 10:00~11:20 ··· 畳上の大岩にて昼食 11:50~12:20 ··· 沢登り最終点
(林道へ) 14:00 ··· 瓢の森P 14:15~15:00
(解散)

登山情報：

目に映る巨大な岩や透明度の高い水が魅力

報告：

9:30 瓢の森駐車場へ集合し準備体操を行い、9:35 沢登りの入水口に向け出発。入水口までの道は湿り気があり、靴底がフェルトの沢靴の場合は滑りやすいので注意が必要でした。

9:55 沢登り開始。足場の見えない歩行はバランスを取ることが難しく足腰に負担が掛かりますが、目に映る巨大な岩や透明度の高い水、時折激しく流れる小滝の迫力など、登山とはまた異なる風景が疲れを癒してくれました。

10:00~11:20 までは傾斜のある1枚岩の滝でトップロープによる登りや懸垂下降を行いました。また、ザックを背負ったまま水に浮かぶ体験ではバランスを取ることが思ったより難しかったです。昼食場所まで20分程上流へ進み11:50~12:20 まで迫力ある滝を眺めながらスラグ状になった大岩にて食事と記念撮影を行いました。

食事後はさらに1時間ほど上流へ進みます。13:20~13:40 には休憩と同時にロープワークによる背負い搬送の練習を行いましたが、荷重心が密着しているほど楽に歩けることを学びました。14:00 沢登り最終点へ到着。林道へ上がる直前には皆でもう一度渓谷の水につかり、子供のようにはしゃいでズブ濡れとなり、14:15 には瓢の森駐車場へ無事到着しました。

ほぼ計画通りに行動ができ、猛暑を忘れられる楽しく涼しい沢登りを満喫することが出来まし

た。片知渓谷は本当にきれいな沢だったので、CLとSLが惚れ込んだ気持ちがわかりました。あまりに素敵な場所なので人に教えたくない気持ちにもなりました。諸役の皆様楽しい一日をありがとうございました。



■県連今後の活動・会議

◎ 山まつり

10月19日（土曜日）

会場：瑞浪 屏風山

降水確率40%以上は、20日に順延。

◎ 全国ハイキング交流集会

10月5日、6日

会場：静岡県伊豆長岡温泉

いづみ荘 055(948)1235

◎東海ブロック雪崩事故防止講習会

机上講習会

11月17日（日曜日）

会場：愛知県連事務所

実技講習会

1月25日、26日

会場：梅池高原スキー場

◎雪山歩行技術講習会

1月19日（日曜日）

詳細は未定です。

◎積雪期救助搬出訓練

2月16日（日曜日）

詳細は未定です。

◎第4回 県連理事会

1月25日（土曜日）19時より。

会場：多治見市小泉公民館

◎第5回 県連理事会

2月22日（土曜日）19時より

会場：多治見市小泉公民館

◎第54回 岐阜県連定期総会

3月30日（日曜日）

主催幹事会： 瑞浪山の会

■編集後記

次回機関誌発行 12月

機関誌編集会議を急遽開催して、発行に至りました。

次回からは、各会の機関誌担当者と、情報交換をして、発行したいと思います。協力のほど宜しくお願ひします。

機関誌部会

部長	古川 春光	瑞浪山の会
副部長	長谷川英世	瑞浪山の会
部員	鈴木智佳子	あるぱいん KANI
"	清水 珠貴	大垣労山
"	土屋 伸次	岐阜ケルン
"	西部 一政	多治見ろうざん
"	牧野 潔	中津川労山
"	日比野 孝	瑞浪山の会
"	森 美奈子	みのハイキングクラブ

機関誌に関する要望：

古川 春光まで

kanten2864@gmail.com

